費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	714,054,444	①　費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②　当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：714,054,444 （業務委託費：436,990,876、通信費：112,960,003、その他経費：164,103,565） イ）固定資産の取得額：工具器具備品：92,552,820
	資産見返運営費交付金	92,552,820	
	資本剰余金	0	
	計	806,607,264	
会計基準第81第３項による振替額		0	
合　計		806,607,264	

③　平成25年度交付分

（単位：円）

区　分		金　額	内　訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	0	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	0	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	5,653,797,147	①　費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②　当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：5,653,797,147 （役職員人件費：1,473,791,904、業務委託費：2,524,529,021、通信費：569,359,395、その他経費：1,086,116,827） イ）固定資産の取得額：建物：4,899,192、構築物：2,350,484、工具器具備品：145,594,126、建設仮勘定：49,992,500、無形固定資産：3,169,907
	資産見返運営費交付金	206,006,209	
	資本剰余金	0	
	計	5,859,803,356	
会計基準第81第３項による振替額		0	
合　計		5,859,803,356	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成23年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	9,442,340	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務である。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、前払費用等経過勘定によるもの。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務については、翌事業年度以降において収益化する予定である。
	計	9,442,340	